

そだちあい

No.27

発行／社会福祉法人 ひらきの里

〒753-0302 山口市仁保中郷43番地
☎(083)929-0312 FAX(083)929-0357
http://www.ynet.gr.jp/hiraki/
e-mail : hiraki@c-able.ne.jp

社会福祉法人制度改革について

理事長 川谷 孝夫

私たちが運営する社会福祉法人の成り立ちは、戦後の孤児や生活困窮者といった要援護者への対策を目的に行政で足りないところを補うことを目的に始まったとされます。そこには、公益性の担保を目的に、資産要件や組織運営、残余財産のあり方等厳格に示されてきました。平成12年からは構造改革の名のもとに民間事業者の参入が認められ、制度も措置から契約へと変わっていきました。その一方で社会福祉法人の在り方について国では議論が続き、公益財団法人等と同等以上の公益性や非営利性を確保することや、地域社会に貢献するといったことが社会福祉法人の使命と位置づけられ、平成28年4月に社会福祉法人法の一部改正、施行がなされました。その内容は、『地域における公益的な取り組みを実施する責務』や、『組織運営の透明性の更なる向上（役員、理事会、評議員会の権限、責任の整理や財務規律の強化等）』等が示されました。

ひらきの里は自閉症の障害を持つ多くの親御さんの力で設立され、『親亡き後の終の棲家』を目指し多くのご協力のもと現在も運営が続いています。そして、現在も多くの利用待機者を抱えています。しかし、社会福祉法人の在り方について示された『地域における公益的な取り組みを実施する責務』について、これからは考える必要が出てき始めました。つまり、ひらきの里の利用者のことを考えるだけでなく『地域で公的な制度がないところに必要とされる支援』について考える時期にさしかかったのではないかと考えます。何ができるのかは今後の検討課題ではありますが、法改正を見据えながら、足元を疎かにすることなく、ひらきの里の運営に取り組んでいきたいと考えます。

最近思うこと、、、

施設長 松本 正

今年は4年に一度のオリンピックの年であり、現在はパラリンピック大会が行われています。機関紙が出るころには終わっていますが、毎日のニュースの中で出場選手の映像を見ると、改めてその力強さに感心させられます。

パラリンピック大会は1948年7月にイギリスのとある病院で行われた競技会が元となっており当時の戦争による負傷のためのリハビリが目的であったと言われていています。今大会においても現在も続く戦争による負傷から中途障がいとなり、この大会に出場している選手もいます。

この大会を見て、改めて考えさせられるのが、神奈川県で起きた知的障害者施設での入所者を殺傷した事件です。この事件についてマスコミやメディアで様ざまに報道されています。その中で、容疑者が「障害者はいなくなればいい」と思っていると伝えられています。

その場所には、同僚や知った顔がたくさんあったにも関わらず、元職員は多くの障がい者を標的とした事件を引き起こしました。何とも釈然としない思いとともに、その報道から何を考え感じたか、自身の内に受け止めなければならないと強く感じています。

日々を送りながらも、人は心の中で、自分たちと異なるものになんとか壁を立て、距離を置いてしまう。それは誰にでも起こりうることで、その心理はわからないではありません。

ただ、誰しも、人は年を取れば自由が利かなくなり、不自由を抱えることになります。また、事故等により思うように動けなくなる等、人生道半ばで障がいを抱えることもあります。

誰にでも起こりうる「障がい」を盾にしてしまう。「今の自分に問題ない」「これから先も起こりえない」「普通が当たり前である」という認識を少し疑わなければならぬと思うと同時に、パラリンピック大会を通じて、自らを振り返る謙虚さや、人の可能性を信じる感性を大切にしないといけなく強く感じています。

先に述べたパラリンピック大会の基礎となった競技会を催した医師の言葉として、

オリンピックは「国民（民族）としての最高（を競う）」が、パラリンピックは「人としての最高（を競う）」といったような言葉を残されたと伝え聞きます。

自らの心に壁を立てない、見下しや同情でもなく、違いをゆっくりでも受け入れ共に歩む。それには、一人ひとりの中に少しのゆとりと余裕も必要です。「否定ではなく、共感を」

いろいろな方に支えられています。

陶芸（クラブ活動） ～自然との遊びを楽しもう～

陶芸講師 高杉 紀美子

いつも大変お世話になりまして、日々感謝の気持ちでいっぱいです。

職員の方々が、利用者さん一人ひとりに対して愛情を一杯に注がれ、そのふれ合いの中で、利用者さんのホッとされる顔や姿を見ると、私まで幸せを感じます。そして、一人ひとりがかわいく見えて、とても癒されます。私は幸せなことに、ひらきの里にお世話になり20年位(?)になるのでしょうか。

みんな子供のときはドロ遊びをしていたと思うので、自然と粘土は好きだと思います。

少しずつ利用者さんのメンバーは変わっていきましたが、粘土の手ざわりは好きなようで、やり始めると熱中します。手から産み出す力は凄い物がありおもしろいのでしょうか。必死で作る姿がとても楽しそうです。

それぞれ個性ははっきりしており、皆良いもの（センス）を持っています。誉めて誉めて伸ばすようにします。楽しいから頑張れるのだと思います。

毎年、芸術文化祭に向けて職員さん、利用者さんと一緒に考えていますが、それぞれの個性が集約された「ひらきの里」を造り出したいと思っています。今年もまた少し変わった作品を目指しています。今は陶器に絵具で色付けをしています。みんな美しい色は大好きで、必死で美しい色を見つけようとします。

そんな利用者さんと一緒に陶芸をすることが幸せでたまりません。また、利用者さんの頑張る姿を見て力ももらっています。

利用者さんたちは生まれ持った感性が育ち、今も頭、体、指先から作品を造り出しています。

毎週、利用者さんの元気な姿が見られるのがとても幸せです。

題名
「ゆめの公園」



昨年の第21回山口県障害者芸術文化祭にて
山口市長賞受賞



布団乾燥 ～快適な睡眠を目指して～

職業指導員 佐伯 謙一



皆さん、こんにちは。宇部市の社会福祉法人 南風荘 セルブ岡の辻です。私たちは毎週、貴事業所に訪問させていただき、お布団の消毒乾燥をしています。

作業は、専用車両の消毒乾燥装置の中にお布団を収納し、密閉状態で装置内を60度以上に昇温、保持して45分間乾燥します。併せて安全無害なヒノキチオールを装置内の循環空気に噴霧し消臭、消毒を行っています。この専用装置での消毒乾燥の効果として大腸菌や黄色ブドウ球菌などの雑菌が著しく減少することが公的検査機関により実証されており、また、ダニなどの死滅も実証されています。

この消毒乾燥作業が、皆さんへ快適な睡眠の提供、貴事業所内での感染症発症および伝染の防止になっていることを強く望んでいます。

私たちにとって消毒乾燥作業は他事業所での作業となり、通常とは異なる環境での就労になりますが、快適に作業できるよう休憩所を準備して頂いたり、いつも皆さんから気持ちの良い挨拶をして頂いたり、また労いの言葉を掛けて頂くことで親しみを感じ、作業従事している利用者さん、職員ともに貴事業所での作業を非常に楽しみにしています。そして、このようなすばらしい環境で就労する機会を与えてくださっていることに感謝をしています。少しでも皆さんのお役に立てるよう、これからも努めたいと思っていますので宜しくお願いします。



“お仕事ががんばってま～ず”



ホカホカ
フワフワ

新職員紹介



<名前・ふりがな>
南波 航希 (なんば こうき)
<所属>
まきば棟
<趣味・特技>
バスケットボール 買い物に行くこと
<好きな食べ物>
魚の煮着け 枝豆 お酒

<好きな言葉>
なんとかなる！
<ひとことアピール>
今まで学生だったため初めての社会人で不安もありますが、持ち前の明るさで頑張っていきたいと思えます。大学在学中は障害児への支援などについて学んでいたため、学んだ知識を活かしつつ、また多くのことを学びながら働いていこうと思っておりますので、よろしくお願いいたします。



<名前・ふりがな>
大田 彩香 (おおた あやか)
<所属>
そよかぜ
<趣味・特技>
きまぐれでお菓子を作ります。
<好きな食べ物>
お肉

<好きな言葉>
努力！！
<ひとことアピール>
4月からお世話になっております大田と申します。私は、利用者の皆さんと一緒に毎日楽しく過ごしていきたいと思っています。そのための努力は惜しまず、日々精進していく所存です。よろしくお願いいたします。



<名前・ふりがな>
稲子田 光男 (いなこだ みつお)
<所属>
グループホーム I
<趣味・特技>
花の写真を撮っております
<好きな食べ物>
カレー、どら焼き

<ひとことアピール>
はじめまして、6月よりグループホームの支援員としてお世話になっております稲子田と申します。支援員として2ヶ月経ちましたが、なかなか皆さんの名前や興味のあるものなどを覚えることができません。61歳ですが、歳相応の前向きさと集中力で頑張っていけますので、よろしくお願いいたします。“ひらきの里には心地よいひらきの風が吹いている”



<名前・ふりがな>
林 充宏 (はやし みつひろ)
<所属>
グループホーム II せせらぎ
<趣味・特技>
旅行(国内外) カヤック、登山、温泉巡り、魚市場巡り、燻製作り、読書、中国語(日常会話レベル)、トルコ語(旅行レベル)、酒蔵・ワイン蔵開き巡り。
<好きな食べ物>
美味しいものなら何でも好きです。四季折々の果物。

<好きな言葉>
知行合一
<ひとことアピール>
ひらきの里の家庭的で開放的な雰囲気に魅かれて就職しました。福祉関係の仕事の経験は3年あまりです。ひらきの職員として一人前になれるよう頑張っていきます。どうぞ宜しくお願い致します。



<名前・ふりがな>
齋藤 康徳 (さいとう やすのり)
<所属>
グループホーム III さくら
<趣味・特技>
自宅療養
<好きな食べ物>
うまい棒 (めんたい味)

<好きな言葉>
至誠にして動かざるものは、未だこれあらざるなり
<ひとことアピール>
前職は精神科病院にて看護師として勤務しておりました。看護師としての経験を活かし利用者様の異常の早期発見に努め、日々の生活を送る上で少しでもお役に立てる様に努めて行ければと思っています。よろしくお願いいたします。



<名前・ふりがな>
山本 静枝 (やまもと しずえ)
<所属>
農園 (椎茸)
<趣味・特技>
料理すること。料理番組や本などでレシピを見ると、すぐに作ってみたいくなります。
<好きな食べ物>
にぎり寿司、ドリアにピザも大好きです。

<好きな言葉>
ありがとう
<ひとことアピール>
ひらきの里産椎茸にチーズをのけて焼くととってもおいしいですよ。“この椎茸おいしいね”ってみんなに言われるように、これからも仲間と一緒に頑張ります。

防災に向けて

この近年、私たちの住む日本列島では地震や台風、突然の豪雨などにより被害を受ける地域が増えています。中には、ひらきの里と同じような福祉施設が被災し、多くの利用者さんや職員が悲しい思いや不自由な生活を強いられているのも現状です。

「今、私たちにできることは何か…」自分自身に問いかけながら、被災した方たちが少しでも前を向いて一歩を踏み出せるよう応援していきたいと思っています。

そんな中、ひらきの里においては火事や災害に備え、防災マニュアルの作成や避難訓練の実施、そして、備蓄食の管理を行っています。

利用者さんと職員みんなが安全で安心できる暮らしが送れるように、これからも防災に対する意識を高めていきたいと思っています。



3日分の備蓄を保管



備蓄食 (3~5年間保存可能)



すたっふ紹介

まきば

藤田武紀 池田正和
井上卓司 安達 稔
藤本 烈 南波航希

オアシス

阿部康彦 松原章容
杉本和也 西岡卓矢
中野大輔 原田幸浩

事務所

松本 正 (施設長)
中尾将史 (事務長)
中尾浩子

健康

堀川芳子 竹下信恵
藤村若江
岡村栄子 小倉恭子
小野良子 杉山光江
中野時恵 松田久美枝

支援課

岩崎泰経 (課長)
大本二三幸 (GH・多機能)
木村彰孝 (まきば・オアシス)
倉永季巳江 (そよかぜ・のぞみ)
野村梨沙 伊藤信司

そよかぜ

吉田早紀 津森聡美
山下絵美 柴崎有香
花田華純 大田彩香

のぞみ

三浦美緒 上田真由美
山本亜沙美 磯貝美有
信岡克典 角田玖莉子 三輪光成

食事

鬼村桃子 矢橋優美
与国二美子 与国祥子
赤地礼子 田村百合子

グループホーム ひらき

I 伊藤晋一 吾郷吉教 内田 博
徳田三幸 吉富英明 稲子田光男
II 松村一孝 内山寛之 矢富友庸
田村育巳 宮本節夫
中川小枝子 林 充宏
III 青井健太 上村優貴 八道忠政
本廣聖児 堀田拓児 齋藤康徳

多機能型事業所 ひらきの家

平尾 要 (所長) 八木理江 (サビ管)
生活介護 岩田幸子 金子裕子 山本静枝
就労継続B 河野達夫 栗林香代子 山川紀美子

相談支援事業所

びぼっと

若月伸也 貞光敬子

グループホーム & 多機能型事業所

厨房/世話人
大坂秀行 山本秀子
丸山美代子 石部幸子
古屋小百合

発達障害者支援センター

まっぴ

岡村隆弘 (センター長)
金谷陽子 吉富 徹
窪 祐樹 青木春菜

子ども通所サービス

あぼろ

白井優子 (サビ管)
平尾裕美子 千々松佑也
正司素子 堀美奈子
横部紋子

退職者

吉富一夫 白井孝典
藤田和博 金谷博範
貞末一秋

お世話になりました。

社会福祉事業区分 資金収支内訳表

(自)平成28年4月1日 (至)平成28年3月31日

(単位：円)

勘定科目		ひらきの里	子ども通所サービスおほろ	合計	内部取引消去	事業区分合計	
事業活動による収支	収入	就労支援事業収入	7,558,053		7,558,053		7,558,053
		障害福祉サービス等事業収入	516,709,246	23,586,022	540,295,268		540,295,268
		生活保護事業収入	4,931,080		4,931,080		4,931,080
		経常経費寄附金収入	624,200		624,200		624,200
		受取利息配当金収入	15,762	481	16,243		16,243
	その他の収入	8,614,169	57,800	8,671,969		8,671,969	
	事業活動収入計 (1)	538,452,510	23,644,303	562,096,813		562,096,813	
	支出	人件費支出	375,038,449	22,612,562	397,651,011	0	397,651,011
		事業費支出	66,884,852	1,984,132	68,868,984		68,868,984
		事務費支出	43,179,771	1,744,223	44,923,994		44,923,994
就労支援事業支出		8,296,923		8,296,923		8,296,923	
支払利息支出		1,259,983		1,259,983		1,259,983	
事業活動支出計 (2)	494,659,978	26,340,917	521,000,895	0	521,000,895		
事業活動資金収支差額 (3) = (1) - (2)	43,792,532	△ 2,696,614	41,095,918	0	41,095,918		
施設整備等による収支	収入	施設整備等収入計 (4)					
		設備資金借入金元金償還支出	30,000,000		30,000,000		30,000,000
	支出	固定資産取得支出	40,998,646	273,780	41,272,426		41,272,426
		施設整備等支出計 (5)	70,998,646	273,780	71,272,426		71,272,426
施設整備等資金収支差額 (6) = (4) - (5)	△ 70,998,646	△ 273,780	△ 71,272,426		△ 71,272,426		
その他の活動による収支	収入	長期運営資金借入金収入	20,000,000		20,000,000		20,000,000
		積立資産取崩収入	946,247		946,247		946,247
		拠点区分間繰入金収入		4,000,000	4,000,000	△ 4,000,000	0
	その他の活動収入計 (7)	20,946,247	4,000,000	24,946,247	△ 4,000,000	20,946,247	
	支出	拠点区分間繰入金支出	4,000,000		4,000,000	△ 4,000,000	0
		その他の活動による支出	10,000		10,000		10,000
その他の活動支出計 (8)		4,010,000		4,010,000	△ 4,000,000	10,000	
その他の活動資金収支差額 (9) = (7) - (8)	16,936,247	4,000,000	20,936,247	0	20,936,247		
当期資金収支差額合計 (10) = (3) + (6) + (9)	△ 10,269,867	1,029,606	△ 9,240,261	0	△ 9,240,261		
前期末支払資金残高 (11)	138,926,748	4,575,231	143,501,979		143,501,979		
当期末支払資金残高 (10) + (11)	128,656,881	5,604,837	134,261,718	0	134,261,718		

社会福祉事業区分 事業活動内訳表

(自)平成27年4月1日 (至)平成28年3月31日

(単位：円)

勘定科目		ひらきの里	子ども通所サービスおほろ	合計	内部取引消去	事業区分合計	
サービス活動増減の部	収益	就労支援事業収益	7,558,053		7,558,053		7,558,053
		障害福祉サービス等事業収益	520,309,246	23,586,022	543,895,268		543,895,268
		生活保護事業収益	4,931,080		4,931,080		4,931,080
		経常経費寄附金収益	624,200		624,200		624,200
		サービス活動収益計 (1)	533,422,579	23,586,022	557,008,601		557,008,601
	費用	人件費	374,092,202	22,612,562	396,704,764		396,704,764
		事業費	66,884,852	1,984,132	68,868,984		68,868,984
		事務費	46,779,771	1,744,223	48,523,994		48,523,994
		就労支援事業費用	8,296,923		8,296,923		8,296,923
		減価償却費	52,693,580	285,164	52,978,744		52,978,744
国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 11,894,861		△ 11,894,861		△ 11,894,861		
サービス活動費用計 (2)	536,852,467	26,626,081	563,478,548		563,478,548		
サービス活動増減差額 (3) = (1) - (2)	△ 3,429,888	△ 3,040,059	△ 6,469,947		△ 6,469,947		
サービス活動外増減の部	収益	受取利息配当金収益	15,762	481	16,243		16,243
		その他のサービス活動外収益	8,614,169	57,800	8,671,969		8,671,969
		サービス活動外収益計 (4)	8,629,931	58,281	8,688,212		8,688,212
	費用	支払利息	1,259,983		1,259,983		1,259,983
		サービス活動外費用計 (5)	1,259,983		1,259,983		1,259,983
サービス活動外増減差額 (6) = (4) - (5)	7,369,948	58,281	7,428,229		7,428,229		
経常増減差額 (7) = (3) + (6)	3,940,060	△ 2,981,778	958,282		958,282		
特別増減の部	収益	拠点区分間繰入金収益		4,000,000	4,000,000		4,000,000
		特別収益計 (8)	0	4,000,000	4,000,000		4,000,000
		拠点区分間繰入金費用	4,000,000		4,000,000		4,000,000
	費用	特別費用計 (9)	4,000,000		4,000,000		4,000,000
		特別増減差額 (10) = (8) - (9)	△ 4,000,000	4,000,000	0		0
当期活動増減差額 (11) = (7) + (10)	△ 59,940	1,018,222	958,282		958,282		
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額 (12)	501,745,831	△ 14,582,369	487,163,462		487,163,462	
	当期未繰越活動増減差額 (13) = (11) + (12)	501,685,891	△ 13,564,147	488,121,744		488,121,744	
	基本金取崩額 (14)						
	その他の積立金取崩額 (15)						
	その他の積立金積立額 (16)						
	次期繰越活動増減差額 (17) = (13) + (14) + (15) - (16)	501,685,891	△ 13,564,147	488,121,744		488,121,744	

社会福祉事業区分 貸借対照表内訳表

平成28年3月31日現在

(単位:円)

勘定科目	ひらきの里	子ども通所サービスあはろ	合計	内部取引消去	事業区分計
流動資産	161,710,715	5,697,249	167,407,964		167,407,964
現金預金	54,910,227	2,113,749	57,023,976		57,023,976
事業未収金	106,752,959	3,583,500	110,336,459		110,336,459
前払金	47,529	0	47,529		47,529
固定資産	976,801,674	2,349,528	979,151,202		979,151,202
基本財産	800,542,926		800,542,926		800,542,926
土地	165,298,153		165,298,153		165,298,153
建物	954,066,659		954,066,659		954,066,659
建物減価償却累計額	△ 319,821,886		△ 319,821,886		△ 319,821,886
定期預金	1,000,000		1,000,000		1,000,000
その他の固定資産	176,258,748	2,349,528	178,608,276		178,608,276
建物	128,936,579		128,936,579		128,936,579
建物減価償却累計額	△ 80,060,395		△ 80,060,395		△ 80,060,395
建物附属設備	13,018,622		13,018,622		13,018,622
建物附属設備減価償却累計額	△ 2,289,644		△ 2,289,644		△ 2,289,644
構築物	46,273,172		46,273,172		46,273,172
構築物減価償却累計額	△ 20,406,868		△ 20,406,868		△ 20,406,868
機械及び装置	71,282,913		71,282,913		71,282,913
機械及び装置減価償却累計額	△ 49,136,930		△ 49,136,930		△ 49,136,930
車輦運搬具	8,556,990		8,556,990		8,556,990
車輦運搬具減価償却累計額	△ 7,738,800		△ 7,738,800		△ 7,738,800
器具及び備品	39,938,990	273,780	40,212,770		40,212,770
器具及び備品減価償却累計額	△ 32,235,544	△ 90,764	△ 32,326,308		△ 32,326,308
ソフトウェア	3,751,239	648,000	4,399,239		4,399,239
長期貸付金	20,000,000		20,000,000		20,000,000
退職給付引当資産	36,358,424	1,518,512	37,876,936		37,876,936
出資金	10,000		10,000		10,000
資産の部合計	1,138,512,389	8,046,777	1,146,559,166		1,146,559,166
流動負債	33,053,834	92,412	33,146,246		33,146,246
事業未払金	32,641,377	91,066	32,732,443		32,732,443
職員預り金	364,928	0	364,928		364,928
前受金	47,529	0	47,529		47,529
仮受金	0	1,346	1,346		1,346
固定負債	176,358,424	21,518,512	197,876,936		197,876,936
設備資金借入金	120,000,000		120,000,000		120,000,000
長期運営資金借入金	20,000,000	20,000,000	40,000,000		40,000,000
退職給付引当金	36,358,424	1,518,512	37,876,936		37,876,936
負債の部合計	209,412,258	21,610,924	231,023,182		231,023,182
基本金	170,035,355		170,035,355		170,035,355
第1号基本金	170,035,355		170,035,355		170,035,355
国庫補助金等特別積立金	257,170,618		257,170,618		257,170,618
その他の積立金	208,267		208,267		208,267
工賃変動積立金	208,267		208,267		208,267
次期繰越活動増減差額	501,685,891	△ 13,564,147	488,121,744		488,121,744
(うち当期活動増減差額)	△ 59,940	1,018,222	958,282		958,282
純資産の部合計	929,100,131	△ 13,564,147	915,535,984		915,535,984
負債及び純資産の部合計	1,138,512,389	8,046,777	1,146,559,166		1,146,559,166

平成27年度ワークショップ・ひらき収支報告書

H27.4.1~H28.3.31

収 入		支 出	
摘要	金額	摘要	金額
前期繰越金	811,550	人件費	857,175
物品販売	4,688,385	物品仕入	2,741,786
その他収入	350,157	材料費	228,859
		交通費	27,660
		その他支出	590,627
		次期繰越金	1,403,985
合計	5,850,092	合計	5,850,092

平成27年度 ひらきの里後援会収支計算書

H27.4.1~H28.3.31

収 入		支 出	
摘要	金額	摘要	金額
前期繰越金	3,188,486	事務通信費	8,200
会費	692,000	大紀産業(雑草乾燥機)	394,200
利息	566	振込手数料	864
		次期繰越金	3,477,788
合計	3,881,052	合計	3,881,052

編集後記

今年はオリンピックイヤー。オリンピックに引き続きパラリンピックでも、日本の選手たちによるメダルラッシュに沸いた2ヵ月間でした。結果はどうあれ、目標に向かって努力し一生懸命に頑張る姿は、私たちに勇気と感動を与えてくれました。

私たちがも日々を過ごすのではなく、みんなで目標を持って“一人ひとりが豊かな生活”を送れるよう努力しなければと、あらためて感じることができました。

最後に「そだちあいNo. 27」の発行にあたり、寄稿して頂いた皆様にお礼を申し上げます。